

# 平成27年度 学校法人 三幸学園 大宮こども専門学校

## 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者:副校長 前川 祐一

学校関係者評価報告責任者:学校関係者評価委員長 茂呂 章人

### 1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、保育分野の学校として「こどもを育み、人・社会を活性化することで日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、保育分野として「皆から信頼・感謝されるこどもの未来を育む人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

### 2. 27年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

「全ては生徒のために」をスローガンに掲げ、「協働力・行動持続力・実践力を身に付けた、社会に必要とされる人財育成」を目標に教育に取り組んでいく。

具体的な数値目標としては

- ・退学目標 7.5%未満
- ・精皆勤率目標 53.0%以上

を目指していく。

#### <重点施策振り返り>

目標としていた退学率と精皆勤率だが共に達成することができなかった。

次年度は退学率の減少、精皆勤率の向上が重点課題となる。

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 ③ 2 1
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけら	④ 3 2 1

れているか	
-------	--

## (1). 教育理念・目標

### ① 課題

- ・教育理念や人材育成像の在校生・保護者・外部等への発信、浸透

### ② 今後の改善方策

- ・在校生に対してはHRや行事等で教員からの積極的な発信を行い、外部や保護者に対しては発送物等に意識的に掲載していく
- ・オープンキャンパス、入学前登校日、保護者説明会での浸透を図る

### ③ 特記事項

- ・特になし

### 【委員のコメント】

- ・三幸学園の教育理念や人材育成像などは在学中、行事や掲示物を通して認識しており、実際の教育とも一致していた
- ・三幸学園の教育理念は保育の現場のニーズに合っているがやや固いので生徒が具体的に捉えるためには噛み砕いて説明する必要があるのではないか
- ・三幸学園の生徒は元気があり、挨拶もできている

## (2). 学校運営

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	4	3	2	1
目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4	③	2	1
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	③	2	1
人事、給与に関する制度は整備されているか	4	③	2	1
教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	4	③	2	1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	③	2	1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

### ① 課題

- ・教育活動に関する情報公開が少ない
- ・より業務を効率化できる状況がある

### ② 今後の改善方策

- ・教育活動に関する情報公開を行う

・業務の効率化を図り、教員の労働時間の短縮を目指す

③ 特記事項

・特になし

【委員のコメント】

・2クラスの担任は大変そうだったという印象がある

(3). 教育活動

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	③	2
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	③	2	1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	③	2	1
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	③	2	1
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	③	2	1
授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	③	2	1
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4	③	2	1
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	④	3	2	1

① 課題

・同一グループであるぼけっとランド、キッズ大陸との連携の機会は徐々に増えてきたが他法人の幼稚園や保育園との産学連携が進められていない

② 今後の改善方策

・実習先や卒業生の就職先との関係を深め、訪問時にヒアリングを行い、産学連携を進めていく

### ③ 特記事項

- ・特になし

#### 【委員のコメント】

- ・今年からはボランティアという形で連携が取れているが、入学後できるだけ早い段階で保育現場を見せた方がよい
- ・キッズ大陸の現場で使っている連絡帳などを授業で使い、より実践的な指導を行ってはどうか
- ・新任の保育者の傾向として上から意見を言うてしまうことが多い
- ・三幸学園と他の大学の卒業生の差は大きくないが、全体的に社会人基礎力が低下しているように感じる
- ・現場に出て見て伝える力、語彙力、文章力が低いと感じたので授業で事例に対して自ら考えて意見を述べる機会があるとよい
- ・学童で昔遊びを教えてもらえると保護者としてはうれしい

## (4). 学修成果

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	就職率の向上が図られているか	4	③	2
資格取得率の向上が図られているか	4	③	2	1
退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1

### ① 課題

- ・資格取得率の向上
- ・退学率の低減
- ・卒業生状況の把握

### ② 今後の改善方策

- ・資格取得率の向上に向けたレポート指導、試験対策の構築
- ・細かい生徒状況の共有からのタイムリーな対応
- ・求人依頼などを絡めた卒業生訪問

### ③ 特記事項

- ・特になし

#### 【委員のコメント】

- ・在学中のレポート作成はレジュメや添削指導があったため、大変だとは思わなかった
- ・レポート課題は文章を書く習慣やパソコン技術の習得につながった

## (5). 学生支援

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2
学生相談に関する体制は整備されているか	4	③	2	1
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	③	2	1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
学生の生活環境への支援は行われているか	4	③	2	1
保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1
卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	③	2	1
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	③	2	1

### ① 課題

- ・就職支援に関してはまだ学校として情報量が少なく、いただいた求人をどれも同じように案内している現状がある

### ② 今後の改善方策

- ・生徒一人一人に最適な求人を案内できるように卒業生の状況を把握し、実習や就職を通して各園とのつながりを強化していく

### ③ 特記事項

- ・特になし

### 【委員のコメント】

- ・就職のエリア担当を活かすために、就職面談の際エリア担当も同席できれば良いのではないかと
- ・実習後の報告書を全員で共有できれば就職活動にも活かすことが出来る
- ・求人情報が多すぎて、細かい違いが分かりにくい状況がある

## (6). 教育環境

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備している	4	③	2	1

か	
防災に対する体制は整備されているか	4 ③ 2 1

① 課題

- ・避難場所や災害時マニュアルの浸透、防災意識を高めるような取り組みができていない

② 今後の改善方策

- ・避難場所や災害時の対応などの周知の強化
- ・学生へ防災意識を高めるよう啓蒙活動を行う

③ 特記事項

- ・特になし

【委員のコメント】

- ・キッズ大陸で行っている避難訓練を参考にしてみてもどうか

(7). 学生の受入れ募集

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	③	2	1
学納金は妥当なものとなっているか	4	③	2	1

① 課題

- ・昨年度は卒業生が出ていなかったなので学校の魅力として就職先実績や就職率などを伝えることができていなかった

② 今後の改善方策

- ・昨年度末の就職実績をまとめ、説得ある資料として高校生や保護者に案内できるように準備する

③ 特記事項

- ・特になし

【委員のコメント】

- ・保育を目指す中高生は多いので大宮こども専門学校の認知を広げる必要がある

(8). 財務

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	③	2
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1

財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

① 課題

・今後の高校生人口の減少を考えると学校の財務基盤が今後も中長期的に安定していくとは言えない

② 今後の改善方策

・入学者の確保による財務基盤の安定

③ 特記事項

・特になし

【委員のコメント】

・特になし

(9). 法令等の遵守

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	③	2
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	③	2	1
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	③	2	1
自己評価結果を公開しているか	4	3	②	1

① 課題

・自己評価の公開

・問題点の改善

② 今後の改善方策

・27年度の継続的实施

③ 特記事項

・特になし

【委員のコメント】

・特になし

(10). 社会貢献・地域貢献

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2

生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	③	2	1
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	③	2	1

① 課題

- ・学校の施設を使った地域の子育て支援である「こどもん広場」は好評をいただいているが、生徒のボランティア活動参加については積極的に案内できていない

② 今後の改善方策

- ・年間スケジュールの中でボランティア活動参加に向けた予定を作成し、夏休みなどを中心に積極的に参加を促していく

③ 特記事項

- ・特になし

【委員のコメント】

- ・今年度より行っているキッズ大陸への定期的なボランティア参加は助かっている
- ・夏休みはどきもボランティアの人手が欲しいのではないか
- ・授業内容と現場経験を連動させていくと教員の説得力も増し、モチベーション維持にもつながる